

市産農産物(出荷物)の放射性物質の自主検査結果(園芸品目) (令和4年4~8月分)

■問い合わせ/農業振興課 TEL 525-7720

出荷・販売を目的とする農産物の自主検査結果をお知らせします。
検査の結果、**99.98%**が測定下限値(20.0ベクレル/kg)未満で、**検査した全ての農産物が基準値を下回っています。**

- 検査機関 福島市地域の恵み安全対策協議会
- 検査期間 令和4年4月1日~8月31日
- 検査機器 NaIシンチレーション検出器31台
ゲルマニウム半導体検出器1台

- 検査場所 JAふくしま未来モニタリングセンター
- 検査件数 139品目 5,680件
- 検査方法 全品目全戸検査

〈作物分類別測定状況〉

(単位:件)

区分	件数/割合	セシウム134・セシウム137合計値(ベクレル/kg)					計
		20.0未満	20.0~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
果物	件数	2,033	-	-	-	-	2,033
	割合	100.0%	-	-	-	-	
野菜	件数	3,483	-	1	-	-	3,484
	割合	99.97%	-	0.03%	-	-	
きのこ・山菜・その他	件数	163	-	-	-	-	163
	割合	100.0%	-	-	-	-	
計	件数	5,679	-	1	-	-	5,680
	割合	99.98%	-	0.02%	-	-	

〈主な品目の測定状況〉

※「作物分類別測定状況」の内、検査件数の多い12品目を記載しています。

(単位:件)

(単位:件)

品目	セシウム134・セシウム137合計値(ベクレル/kg)					計
	20.0未満	20.0~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
桃	921	-	-	-	-	921
梨	362	-	-	-	-	362
なす(露地)	220	-	-	-	-	220
じゃがいも	216	-	-	-	-	216
りんご	192	-	-	-	-	192
きゅうり(露地)	177	-	-	-	-	177
サクランボ	174	-	-	-	-	174
たまねぎ	171	-	-	-	-	171
スナックエンドウ	152	-	1	-	-	153
さやいんげん	149	-	-	-	-	149
梅	132	-	-	-	-	132
キャベツ	123	-	-	-	-	123

令和3年度の個人線量計(ガラスバッジ)による測定結果

■問い合わせ/保健所 保健総務課 TEL 525-7681

測定を希望された1,740人のうち、3カ月間計測した1,594人の追加被ばく線量^{※1}の平均値は、0.014ミリシーベルトでした。表1

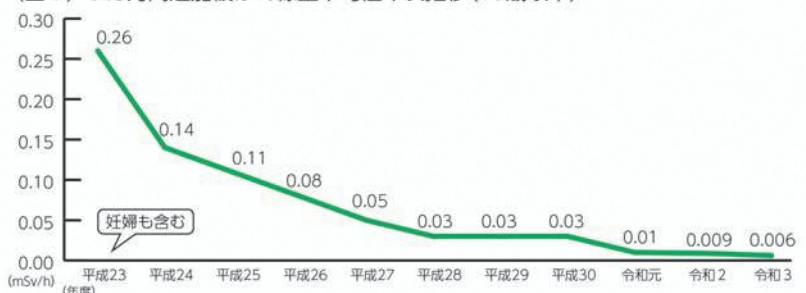
年齢別に見てみると、16歳以上の平均値は0.019ミリシーベルト、15歳以下の平均値は、0.006ミリシーベルトとなっています。平成23年度から実施している15歳以下の平均値推移は、図1のとおり、年々減少してきています。

医師や市の放射能対策アドバイザーなどで構成する福島市健康管理検討委員会は、「今回の3カ月間で測定された線量より推定した年間積算線量からは、将来、放射線によるがんの増加などの可能性は少ない」と判断しています。

(表1) 3カ月間測定者の平均値

	人数(人)	追加被ばく線量平均値(ミリシーベルト)
全年齢	1,594	0.014
0~15歳	663	0.006
16歳以上	931	0.019

(図1) 3カ月間追加被ばく線量平均値年次推移(15歳以下)



※1 「追加被ばく線量」とは

測定値から自然放射線量を差し引いたあとの数値です。東京電力(株)福島第一原子力発電所事故以降に追加された被ばく線量です。